

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名		静岡県立中央特別支援学校 P T A				
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input checked="" type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	179 人				

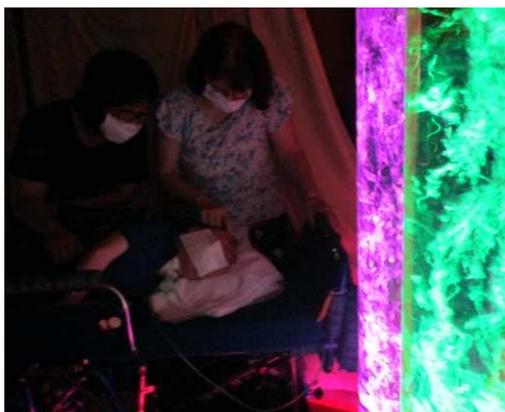
1. 使用状況

寄贈物品名	スヌーズレン用品
使用学年及び人数	小学部低学年15名 高等部自立5名、2年14人 病弱・訪問部(小4・5、中3、高1～3年 30人)
使用頻度	常時設置 学習では移動して月2～3回利用
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の授業にて「うみ」を扱った際に使用した。(小学部) ・海、波、水の音色を感じたり、水の色を感じたりする中で曲を聴き、穏やかな曲調に合った海をイメージするために活用した。(小学部) ・常設展示の前を通過するたびに、止まったり、近寄ったりして鑑賞した。(中学部) ・自立活動の時間にリラクゼーションタイムで活用した。(高等部) ・特別活動の時間で事業所体験や修学旅行に向けた学習のため暗室にして音と光を楽しんだ。(高等部) ・集合学習の授業で取り組んだ。本校の自立活動室を暗くして光の学習で活用した。部屋を暗くし、光る教材を少しずつ点灯させる中、スヌーズレンも点灯させた。BGMにオルゴール曲を流し、様々な光をリラックスした中で見た。(病弱・訪問 小4・5) ・本校へ行って学習に取り組んだ。アクアツインタワーを点灯させて光の学習を行った。(病弱・訪問中3、高1～3)
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・暗い中で様々な色に光る教材は、とても綺麗で注視していた。 ・会の始めは眠っていた児童が、学習が始まると目を覚まし、会の最後まで活動に参加することができた。 ・光るものを好む児童がいて、自分から手を伸ばして触れることがあった。 ・普段は自己刺激をして過ごすことが多い生徒が、アクアツインタワーの光と泡の動く様子をじっと見入る姿が見られた。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の段階では、遊びの指導や自立活動で、音や光を使った学習を扱いやすいので使っていきたい。 ・今後も続けて利用したい。音楽の鑑賞教材の内容によってはスヌーズレンを活用することで効果があがるように感じる。 ・光の方へ注目し、しばらく見とれていたり、自分から手を伸ばして触れたりする姿が見られて良かった。光るものに興味があることが分かり、今後の授業作りに活かしたい。 ・いろいろな活用方法を知り学校以外の場所でも取り組みたい。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・移動する際には慎重に2人で対応しなければならなかった。 ・光やスヌーズレンを題材にするには一つだと少し寂しく感じたが、前年度に寄贈いただいたオミ・ビスタと併用して空間を作るなど工夫の幅が広がった。 ・午前中にプールに入った日など体力的に疲れている日の午後での使用では、とても落ち着くことができた。スヌーズレンを使った様々な活用方法を学んでいきたい。

2. 活用の様子



海みたい！泡がいっぱいできれいな。



いつもは見るのが難しい児童生徒もよく見ている様子がありました。

